

安平町では、人口減少に対応する3つの重要施策の実施検討を進めています。これら重要施策は、平成27年3月の町議会等でも大きな議論となりました。そのため、町は町民の皆さんに事業の必要性を十分に説明した上で進めることとしており、5月から10回にわたり町民説明会を開催していきます。



今号では、説明会を前に、これら「3つの重要施策の概要」についてお知らせしていきます。

この部分
を本ページで
説明します

- I 現状と人口減少対策
- II 道の駅・鉄道資料館建設
- III 児童施設と公共施設配置
- IV あびらチャンネル

施策概要の前に、**そもそもなぜ安平町において人口減少対策が必要なのでしょうか？**
まず、安平町の現状からご説明します。

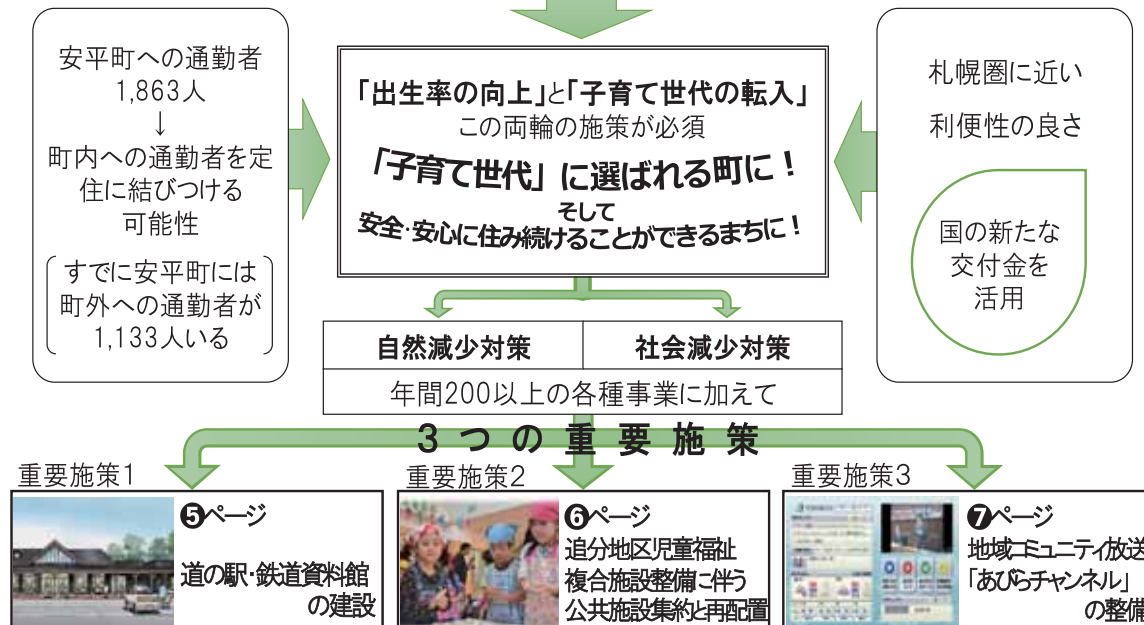
■ 安平町の現状

H27.3月末の人口「8,543人」 …これをどう捉えるか？	人口減少要因は、 「自然減少」と「社会減少」	何もせずに諦めるのか？ …安平町に未来は無いのか
昭和35年の14,485人がピーク 平成22年は 8,726人まで減少 人口減少が問題ではなく、若年層が減り、高齢者層が増加していることが問題	出生数は年間50人程度 死亡者は年間100人以上 H16～25で平均で△53.2人 「20代の若者」と「70歳代の高齢者」の転出が顕著	平成5年～平成15年における対策により人口減少を鈍化させた経験 未来に安平町を継承するため、積極的な戦略展開が求められているのではないか

町の人口推移・将来推計	町の人口構造 (H26.3末)	地区別 高齢化率 (現状の一例)
<p>13383 (S40), 11258 (S55), 9484 (H7), 8726 (H22), 7341 (H37), 5897 (H52)</p> <p>高齢化率: 30.1% (H22), 37.6% (H37), 41.6% (H52)</p>	<p>65～69歳, 35～39歳, 20～24歳</p> <p>この「くぼみ」を膨らませ、人口ピラミッドを補正する施策の実行が求められる</p>	追分地区 若草 45.9% 青葉 44.7% 早来地区 北町 47.3% 北進 30.9%

■ 安平町における対応策

高齢化率の上昇、コミュニティを維持するためにも、「人口構造」を変える必要がある
そのためには、**「子育て世代の転入」を増やし、「少子化」に歯止めをかけられるかがカギ**



安平町の人口減少対策と重要施策の概要

〈町民説明会の前に〉

説明会の日程は、**7ページ**